

## 第 3 章 配 管

### 第 1 条 施工方法

配管工事はできるだけ最短距離になるように考慮し、将来増設分には運転に支障がなく保守点検時にも容易に取外しできなければならない。

### 第 2 条 施工条件

- 1．管の重量、無理な締付等により、機器に悪影響を及ぼさないよう施工すること。  
管はその荷重が接合部にかからぬ様十分注意しなければならない。
- 2．異種管の接合にあたっては、使用状況に応じて電氣的に絶縁し、腐食を防止する対策を講じること。

### 第 3 条 配管清掃

配管にあたっては、接合前に管内を完全に清掃し、土砂、切粉、その他の異物の入らぬよう丁寧に接合すること。また、小配管取付完了後は、各配管とも十分なフラッシングを行い、切粉、溶接層、塗装層等を完全に除去しなければならない。

### 第 4 条 現場合わせ

現場合わせの場合は監督職員の承諾を得なければならない。

### 第 5 条 コンクリート貫通部

コンクリート構造物を貫通する管は、コンクリート打設前に固定しておくか、適当な箱抜きをしておかななければならない。

尚、水密又は気密を要する場合は貫通部には必ず止水つばを設け、エポキシ樹脂系ボンド材を用いて完全なコキングを行わなければならない。

### 第 6 条 不等沈下対策

不等沈下衝撃等の考えられる部分にはフレキシブルジョイントを設け必要な部分には空気抜きを設けなければならない。

### 第 7 条 ポンプ配管

ポンプ配管の吸込側水平部は、ポンプに向かって、2/100 の登勾配にし、又、その他必要な部分には、空気抜き及びドレン口を設けなければならない。

### 第 8 条 エンジン配管等

エンジン排気管、蒸気管等、高温又は低温の配管には断熱材、保温材、伸縮継手等を設けなければならない。

## 第 9 条 配管材の規格・用途

配管材の規格・用途は次のとおりとする。尚、規格については、それぞれ以下の規格に適合したもの、もしくは同等以上の品質とする。

### イ) 規格

#### 1. 規格鋳鉄管

- |     |           |         |              |                   |
|-----|-----------|---------|--------------|-------------------|
| (1) | J S W A S | G - 1   | 下水道用ダクトイル鋳鉄管 |                   |
| (2) | J I S - G | 5 5 2 6 | ダクトイル鋳鉄管     | ( 7 5 ~ 1 5 0 0 ) |
| (3) | J I S - G | 5 5 2 7 | ダクトイル鋳鉄異型管   | ( 7 5 ~ 1 5 0 0 ) |

#### 2. 規格鋼管

- |     |                     |         |                           |                            |
|-----|---------------------|---------|---------------------------|----------------------------|
| (1) | J I S - G           | 3 4 4 2 | 水道用亜鉛メッキ鋼管                |                            |
|     |                     |         | S G P W                   | ( 1 0 ~ 3 0 0 )            |
| (2) | J I S - G           | 3 4 5 2 | 配管用炭素鋼鋼管                  |                            |
|     |                     |         | S G P                     | ( 6 ~ 5 0 0 )              |
| (3) | J I S - G           | 3 4 5 4 | 圧力配管用炭素鋼鋼管                |                            |
|     |                     |         | S T P G                   | ( 6 ~ 6 5 0 )              |
| (4) | J I S - G           | 3 4 5 5 | 高圧配管用炭素鋼鋼管                |                            |
|     |                     |         | S T S                     |                            |
| (5) | J I S - G           | 3 4 5 7 | 配管用ア - ク溶接炭素鋼鋼管           |                            |
|     |                     |         | S T P Y 4 0 0             | ( 3 5 0 ~ 2 0 0 0 )        |
| (6) | J I S - G           | 3 4 5 9 | 配管用ステンレス鋼鋼管               |                            |
|     |                     |         | S U S - T P               | ( 6 ~ 5 0 0 )              |
| (7) | J I S - G           | 3 4 6 3 | ボイラ - 熱交換用ステンレス鋼管         |                            |
|     |                     |         |                           | ( 外径 1 5 . 9 ~ 1 3 9 . 8 ) |
| (8) | W S P - 0 1 1 - 7 5 |         | 硬質塩化ビニ - ルライニング鋼管および異形管   |                            |
|     |                     |         | S G P - V A , S G P - V B | ( 2 0 ~ 4 0 0 )            |

#### 3. 規格硬質塩化ビニル管

- |     |           |         |             |                     |
|-----|-----------|---------|-------------|---------------------|
| (1) | J I S - K | 6 7 4 1 | 硬質塩化ビニル管    | V P ( 1 3 ~ 3 0 0 ) |
|     |           |         |             | V U ( 4 0 ~ 8 0 0 ) |
| (2) | J I S - K | 6 7 4 2 | 水道用硬質塩化ビニル管 |                     |
|     |           |         |             | V W ( 1 3 ~ 1 5 0 ) |

#### 4. 規格鋼管

- |     |           |         |             |  |
|-----|-----------|---------|-------------|--|
| (1) | J I S - H | 3 3 0 0 | 銅および銅合金継目無管 |  |
|-----|-----------|---------|-------------|--|

ロ) 用途

用 途		管 種
(1)	汚 水	鋳鉄管 , SUS・TP
	処 理 水	鋳鉄管 , SGPW , SGP・VA , SGP・VB , SUS・TP
(2) 汚 泥		鋳鉄管、SUS・TP
(3) 雑 用 水		SGPW , STPG , SUS・TP , HIVP
(4) 上 水 用		SGP・VA , SGP・VB , HIVP
(5) 薬液	塩 素 水	SGP・FVA , SGP・VB , VW , VP , HIVP
	塩 化 鉄	SGP・VA , SGP・VB , HIVP
	苛性ソ - ダ	SGP・FVA , SGP・VB , HIVP
	硫 酸 鉄	SUS・TP , SGP・VA , SGP・VB
	高 分 子 凝 集 剤	SUS・TP , SGP・VA , SGP・VB
(6) 油	低 圧	SGP , CuT
	高 圧	STPG , STS
(7) 消 化 ガ ス		SUS・TP
(8) 空 気		STPY400 , STPG , SGP , CuT , SUS・TP

第 10条 分解組立

各機器付近の配管は、機器が容易に分解、再組立が出来るようにル - ズフランジを設けなければならない。

第 11 条 バイパス配管

配管中に電磁弁、流量計等がある場合には、バイパス、バイパス切換弁、ドレン管及びドレンバルブを設けなければならない。

第 12 条 他工事との調整

同一施工現場で、他の工事で施工する配管と本工事の配管が輻輳する場合は、十分協議の上施工すること。